

# 公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和5年10月18日

施設名	高知県立牧野植物園	所管課室	林業振興・環境部 自然共生課
-----	-----------	------	----------------

## 1 施設の概要

指定管理者名	公益財団法人高知県牧野記念財団	指定期間	令和3年4月1日～令和6年3月31日
施設所在地	高知市五台山4200番地6		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植物園の設置の目的※を達成するための事業の企画及び運営に関する業務</li> <li>・植物園の利用の許可、撮影の許可、許可の取消し等に関する業務</li> <li>・植物園の利用料金の収受、減免、還付その他の利用料金の徴収に関する業務</li> <li>・植物園の施設、設備等の維持管理に関する業務</li> </ul> <p>※『牧野富太郎博士の偉業を顕彰し、植物研究を通じて、教育文化の向上及び産業振興に寄与するとともに、土佐寒蘭の保護及び知識の普及を図り、県民に対し、憩いの場を提供する』 (高知県立牧野植物園の設置及び管理に関する条例第1条)</p>		
施設内容	<p>○ 面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など</p> <p>〈植物園面積〉 約20.5ha(うち7.8haを利用)、駐車場(普通車など225台、バスなど8台)          〈主要施設〉 牧野富太郎記念館(本館、展示館)、回廊、温室、資源植物研究センター、土佐寒蘭センター、長江圃場、レストラン、ショップ、カフェなど          〈開園時間〉 午前9時～午後5時 〈休園日〉 12月27日～1月1日          〈主な料金〉 入園料/一般730円(高校生以下無料)、団体630円(20名以上)、年間入園券2,930円、高知県長寿手帳保持者等は無料          施設利用料(1時間当たり)/映像ホール1,470～1,890円、アトリエ実習室520～630円など          撮影料/業として行う写真の撮影:撮影者1人当たり日額1,880円、業として行う映画の撮影:撮影機1台当たり1時間3,780円</p>		
職員体制	常勤職員: 27人 契約職員: 21人 合計: 49人		

「職員数は令和5年4月1日現在」

## 2 収支の状況

単位:千円

		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(予算)
収入	県支出金	465,526	534,117	502,054
	使用料・手数料	42,976	89,736	82,128
	その他	10,194	32,283	6,471
	収入計 (a)	518,696	656,136	590,653
支出	事業費	56,630	54,890	48,033
	管理運営費	211,200	267,514	295,029
	人件費	234,601	241,553	247,591
	その他	16,265	92,179	0
	支出計 (b)	518,696	656,136	590,653

### 3 利用状況

	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	令和5年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	128,623	214,304	220,000
②利用者意見等の反映	<p>○利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企画展や教室開催時にはアンケートを実施のうえ、利用者のニーズを把握し、次回以降の企画展等に活かしている。</li> <li>苦情については、適宜迅速かつ丁寧に対応し、経緯を含め職員間で対応に関する共通認識を持つようにしている。</li> </ul>		
③その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度も引き続き新型コロナウイルス感染拡大の中で、令和4年2月には、牧野博士をモデルとした連続テレビ小説「らんまん」の制作決定が発表され、マスコミ等への集客による取組みを積極的に実施した結果、入園者数が214,304人を記録して過去最多となった。</li> <li>牧野富太郎生誕160周年メモリアルイヤーに様々な記念事業を展開し、牧野博士の業績を広く伝える活動を行った。</li> <li>駐車場不足を解消するため、第1駐車場の改修工事を行い、改修前の駐車場台数183台(普通車)から225台、バス駐車場6台を確保した。</li> </ul>		

### 4 令和4年度業務評価

項 目	状 況 説 明
①適正な管理運営の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>法令順守、利用料金の徴収に関する業務、施設の利用及び撮影の許可に関する業務、施設管理、情報管理などについて、公の施設として適正な管理運営が行われている。</li> <li>毎週、課長以上による会議を行い、事業の効果的な実施方法や協力体制について検討するとともに情報共有を行っている。</li> </ul>
②利用者サービスの維持向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>来園者が多く駐車場不足が想定される夜の植物園などの際には、高知駅や臨時駐車場との間でシャトルバスを運行させるなどニーズに対応した取り組みを行った。</li> <li>イベントや企画展など県内の報道機関にプレスリリースを配信し、年間486回の取材対応を行った。また、見ごろの植物や開催中のイベント、企画展を中心にインスタグラムに週2、3回のペースで計182回発信し、植物園の魅力を伝えた。</li> <li>園内のレストランでは、季節や催しに合わせた限定メニューを提供し、来園者の満足向上に繋がった。</li> </ul>
③事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>栽培植物の管理においては、公開園地に植栽されているものは植物ラベルやパネルを積極的に更新し、来園者にアピールするとともに、長江圃場で管理している植物は、温室や土佐寒蘭センターなどで個々の植物の開花に合わせて一般公開を行った。温室ではラン科植物を中心に788鉢、伝統園芸植物は年15回の展示計画で363鉢を展示した。</li> <li>研究分野では、研究活動の成果を原著論文21件、その他出版物10件、特許出願1件、学会発表22件、講演会60件で発表した。</li> <li>薬用植物研究では、大豊町で小林製薬と連携して薬用植物の試験栽培を実施しており、トウキの葉を活用した商品開発などを行い、薬用植物栽培を通じて、地域の課題解決に取り組んでいる。</li> <li>応用開発研究では、1研究機関、5大学、4企業と連携し、有用植物の探査で得られた試料エキスをライブラリーに基づく共同研究を実施している。</li> </ul>
④収支の状況	<p>入園者数は、令和4年2月に連続テレビ小説「らんまん」の制作決定が発表され、全国から注目を浴び、県内外や団体客が増えたことから、年間入園者数は前年度から85,681人増加し、利用料金収入も前年度から46,758千円増となった。</p>
総合評価	<p>A</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>「らんまん」放映決定を受け、今まで以上の取り組みを様々な分野で行っており、特にメディアへのアピールを積極的に行い、新規来園者の誘客、リピーターの増加に向けた取り組みが行えている。</li> <li>ボランティア登録者の高齢化の課題について、「らんまん」の影響で新たに植物に興味を持ち、潜在的に興味を持っていた人が顕在化してくる可能性がある。このタイミングを逃さず、世代交代に向けてボランティアの募集のPRを強化して取り組んで欲しい。</li> <li>利用者のニーズの把握において、アンケート結果から見えてくる課題が分かり、質の高いサービスを提供することができる。アンケートの実施方法や内容、集計結果の開示して、アンケート調査結果を効果的に活用するような取り組みをして欲しい。</li> <li>すべての項目で要求水準を満たしており、多くの項目で水準を上回っており、優れた管理運営が行われている。更なる向上を目指して今後も取り組んで欲しい。</li> </ol>

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの  
 B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの  
 C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの  
 D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの